

NPO 法人看護アカデメイア幸発足 5 周年記念事業のまとめ

日時：2017 年 6 月 18 日 13 時～16 時

場所：廿日市市民活動センター

参加者；12 名（一般 2 名）、理事 9 名、合計 21 名

1. 開会挨拶及び 5 年間の活動報告：新道幸恵理事長

2. 実践報告 座長：迫田綾子副理事長

1) 看護コンサルテーションの成果報告

(1) 発表者：尾鍋外科病院 総看護師長 西内禮子氏

- ① 発表の概要：平成 25 年 2 月からコンサルテーションを受けている。平成 25 年は 2 回／月、昨年は 1 回／月。研修内容は「環境整備」「口腔ケア」「身体清潔」「救急看護、呼吸器患者看護」「看護記録」「接遇・看護倫理」「人材育成」。学びの機会を得て看護の視点が広がり、質が上がった。それに伴い重症度の高い患者の受け入れ数が増大し、収益もあがり、休みが取りやすくなり離職者も少なくなった。今まで自分たちが行っていたことが正しかったのか、自分を振り返り、疑問の解決にもつながった。職員が前向きになり意欲も向上してきた。今後も継続的に取り組んでいきたいと考えている。

2) 看護塾での学びと実践

(1) 発表者：県立広島病院 迫田順子氏

発表の概要：「データに基づいた業務改善から看護の質向上へー内科外来の業務の標準化を試みてー」のタイトルで資料をもとに以下のような報告があった。

一日外来患者数は約 348 名、呼吸器や循環器の患者が増えている。時間外労働が恒常的に多くなり、休暇が取りにくくインシデントやクレームが増加する等の問題があった。そこで常勤が対応する業務の内容分析や 15 時以降の業務や患者数等の調査をし、業務改善を行い、患者面談等も実施した。その結果看護師の時間外が減少し、休暇の取得も可能になり、患者のクレームも減少した。また今後の課題も明確になった。

(2) 発表者：山口赤十字病院 加藤君江氏

発表の概要：7 体 1 の病棟にいる。いろいろな実践について他者からのフィードバックを求めるがなかなか返ってこないことが多く、研修で学んだことを活かして自部署でリフレクションを行った。最初できていないことばかり語っていたが、参加した同僚からのポジティブな質問によりできていることも語れるようになった。

約 3 時間が瞬く間に過ぎたように感じられるほど、発表毎に参加者から活発な意見交換があった。

3. ボランティア活動感謝状贈呈

感謝状の贈呈対象者は6名であったが池田三和子氏と大村紀子氏の2名の参加があり、新道幸恵理事長より感謝状と記念品が贈呈された。